

声 Voice

朝日新聞 2020 年（令和 2 年）4 月 10 日（金）

救われて 伝え つながる言葉

大学生 中村 菜穂

（奈良県 20）

4 月、大学 3 年生に進級した。幼い頃から小学校の先生になることが夢だったため、教育系の学科に進学することに迷いはなかった。しかし、様々なことを学んでいく中で、進むべき道はここで合っているのか、他にやりたいこと

に挑戦するべきではないのかと悩み始めた。一人で悩み続けても答えがでることはなかった。

ゼミの先生に悩みを打ち明けると、最初に返ってきたのは「それでいい」という言葉だった。あまりの意外さに驚いた。「この道に進み始めたからには頑張りなさい」と言われるのではないかと思

っていたからだ。しかし、先生は「それでいい。だって悩んでいるということは、それだけ将来について考えていることだから」と言ってくれた。

この言葉に救われた。将来どのような道に進もうとも、先生のような言葉を誰かに伝えられるようになりたい。さらに今まで多くの方々から頂いた言葉も伝えていきたい。次世代に伝えることで、言葉はつながっていくのだ。

※朝日新聞社に無断で転載することを禁じる。

承認番号「20-1394」